宿泊旅行調査2015　じゃらんリサーチセンター調べ

実施率は56.9%、前年下回る

費用総額は前年比2.0%増の7.5兆円

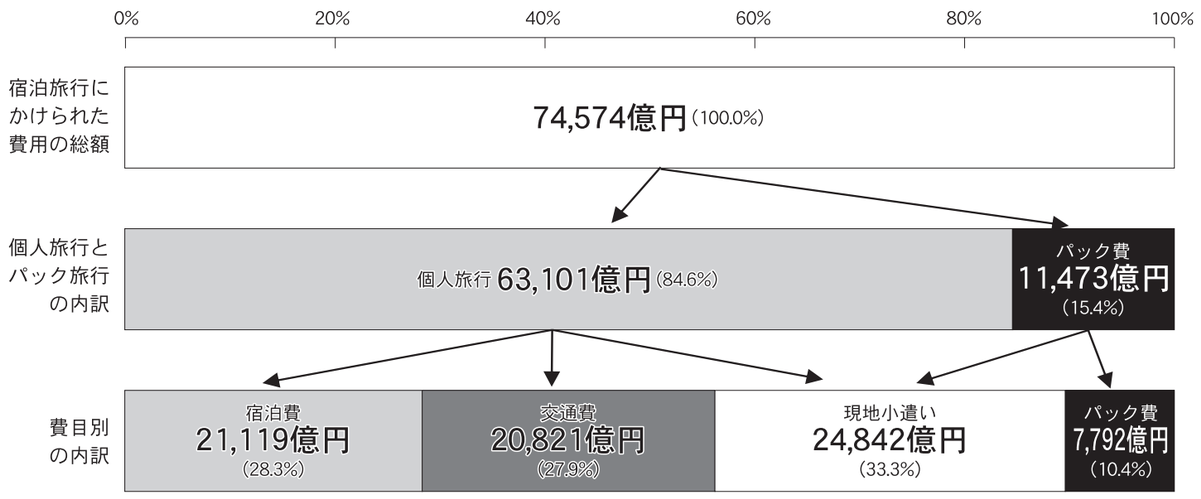
じゃらんリサーチセンターがこのほど発表した「じゃらん宿泊旅行調査2015」によると、2014年度の1年間に国内の宿泊旅行を行った人の割合は56・9%で前年度比0・6ポイント減少した。

性・年代別では、20～34歳男性層が前年度比1・1%増加した以外は、すべての性・年代で延べ宿泊旅行者数が前年度比で減少した。延べ宿泊旅行者数は前年度比3・1%減少して、1億5110万人。1回あたりの平均宿泊数は微増の1・68泊だった。その結果、延べ宿泊数は2億5397万人泊となった。

国内の宿泊旅行にかけられた費用総額は7兆4574億円で、前年度比2・0%増加。3年連続で回復した。大人1人あたり1回の宿泊旅行にかかった費用は4万9200円で、前年度より2400円の大幅増加。延べ宿泊旅行者数の減少をカバーした。現地小遣いのうち、主な宿泊地での追加消費額の平均は、大人1人あたり、買い物で5500円、夕食で3090円、昼食で1490円、飲酒で461円、観光施設で3280円だった。

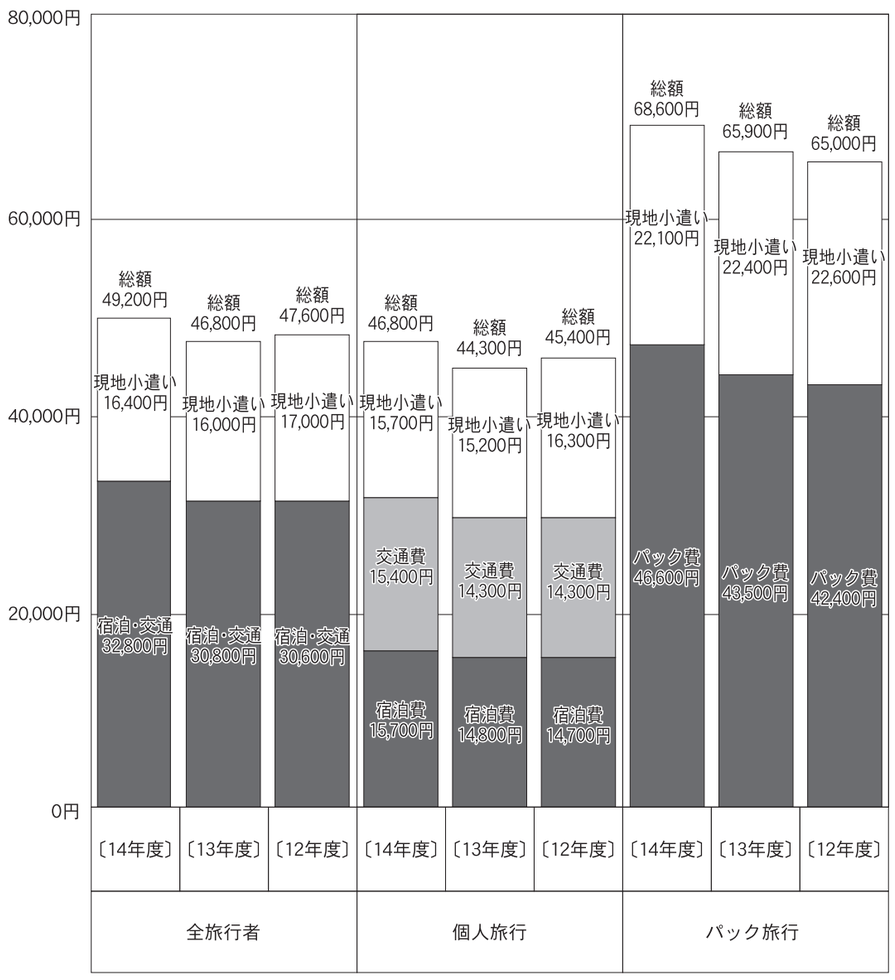
宿泊旅行の同行形態で最も割合が高いのは「夫婦2人での旅行」で24・5%だった。「1人旅」は調査開始以来10年連続の増加。特に20～34歳男性は、調査開始時点から12・0ポイント上昇した。

◇宿泊旅行にかけられた費用総額（推計値）

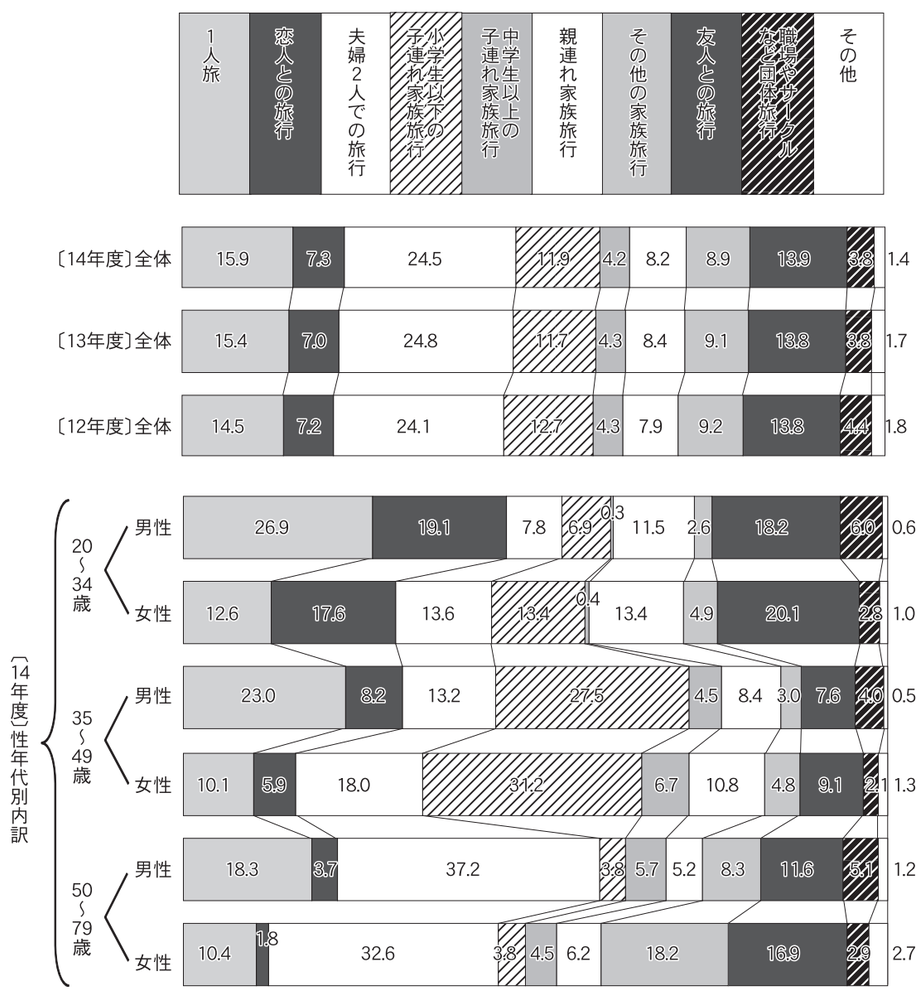


現地小遣い・・・旅行先での飲食・買い物、遊興費、目的エリア内での移動費用を含む

◇１回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）



◇宿泊旅行の同行形態（単一回答）



◇都道府県別の延べ宿泊旅行者数（推計値）

2014年度　推計値		順位変動	2013年度　推計値	2012年度　推計値
全　国	15,110万人		15,599万人	14,505万人
1位　東京都	1,702万人	←	（1位　1,720万人）	（1位　1,659万人）
2位　北海道	1,064万人	←	（2位　1,027万人）	（2位　1,025万人）
3位　静岡県	770万人	↑	（4位　831万人）	（5位　715万人）
4位　神奈川県	768万人	↓	（3位　832万人）	（4位　766万人）
5位　大阪府	749万人	↑	（6位　769万人）	（6位　706万人）
6位　長野県	720万人	↓	（5位　773万人）	（3位　785万人）
7位　京都府	704万人	←	（7位　691万人）	（7位　656万人）
8位　千葉県	598万人	←	（8位　662万人）	（8位　573万人）
9位　福岡県	517万人	↑	（10位　499万人）	（9位　474万人）
10位　沖縄県	515万人	↑	（11位　496万人）	（11位　431万人）

◇都道府県別の延べ宿泊旅行者増加率・増加数（2014年度 - 2013年度推計値）

2014年度← 13年度	増減率	増加数
1位　福井県	27.2%	32万人
2位　高知県	20.0%	22万人
3位　群馬県	18.1%	58万人
4位　和歌山県	16.4%	33万人
5位　青森県	13.6%	23万人
6位　石川県	12.0%	34万人
7位　徳島県	11.6%	9万人
8位　香川県	10.0%	14万人
9位　愛媛県	8.8%	14万人
10位　大分県	7.4%	23万人

◇テーマ別・都道府県魅力度ランキング

▶地元ならではのおいしい食べ物が多かった	1位	高知県	2位	北海道	3位	富山県
▶魅力のある特産品や土産物が多かった	1位	沖縄県	2位	鹿児島県	3位	京都府
▶魅力的な宿泊施設が多かった	1位	沖縄県	2位	大分県	3位	千葉県
▶地元の人のホスピタリティを感じた	1位	沖縄県	2位	鹿児島県	3位	岩手県
▶子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	和歌山県
▶若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	大阪府
▶大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	沖縄県	2位	千葉県	3位	京都府
▶現地で良い観光情報を入手できた	1位	沖縄県	2位	奈良県	3位	京都府

調査データ